



2006年5月31日

各 位

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 新日鉱ビル  
イー・アクセス株式会社  
代表取締役会長兼 CEO 千本 倅生  
(コード番号: 9427 東証一部)

**イー・モバイル、273億円の追加増資を確定し、累計1,432億円を株式にて調達  
借入枠と合わせ予定額を上回る3,600億円超を確保、事業資金の調達を完了  
~シンガポール国営投資会社テマセク社が第三位の株主へ~**

イー・アクセス株式会社(以下「イー・アクセス」)の子会社であるイー・モバイル株式会社(以下「イー・モバイル」)は、本年6月を払込期限に進めてきた追加増資を本日完了し、予定額を上回る約273億円を確定しました。本追加増資により、イー・モバイルの資本金と資本準備金の合計は1,432.1億円(うち資本金:717.5億円)、イー・アクセスのイー・モバイルに対する株式の持分比率は、46.2%となります。

今回の追加増資でも非常に旺盛な投資需要を受け、株式による調達額は当初予定を大幅に超過、すでに確定している2,200億円の借入枠と合わせ、3,600億円超の事業資金を確保しました。これにより、現時点で事業計画上の資金需要をすべてカバーしたことになります。

テマセク社(Temasek Holdings)は、シンガポールを拠点とするアジア最大級の投資会社で、今回の増資において、約7%の持分比率(現時点)に相当する120億円を引き受け、イー・アクセス、米ゴールドマン・サックスに次ぐ第三位の主要株主となります。テマセク社は1974年にシンガポール政府によって設立され、1,030億シンガポールドル(約7兆円)の投資資産を誇ります。テマセク社は、シンガポールテレコム、MediaCorp、Singapore Technologies Telemedia、Shin Corporation(タイ)といった、アジアのテレコムやメディア関連分野で大きな投資実績を持ちますが、日本においては、イー・モバイルへの投資が最大となります。

今回の増資により、イー・モバイルの株主は、世界的な金融会社や、戦略的パートナーである、米ゴールドマン・サックス、テマセク社、TBS、三井物産、ヨドバシカメラ、ビックカメラ、コジマ、セドナ・キャピタル(吉本興業)などが揃う、バランスの取れた構成となります。各社のもつ国内外での、テレコム、メディア、金融分野における豊富な経営ノウハウは、イー・モバイルの事業推進に極めて大きな役割を果たし、長期的な株主価値の拡大に資するものと考えております。

---

尚、今回は国際的な資金調達であったため、世界有数の法律事務所であるO'Melveny & Myers LLPとアンダーソン・毛利・友常法律事務所のアドバイスをいただきました。

1. 本割当増資の割当先

割当先	今回出資額
Temasek	120.0 億円
米ゴールドマン・サックス・グループ	68.0 億円
イー・アクセス株式会社	50.0 億円
その他	34.8 億円

2. 払込期日

本日（2006年5月31日）

3. 本割当増資実施後の株式持分比率

イー・アクセス株式会社	46.2%
米ゴールドマン・サックス・グループ （GS eM Holdings I 及び GS eM Holdings II）	24.9%
Temasek	7.0%
株式会社東京放送（TBS）	6.6%
Woodperker Group	3.5%
New World TMT Limited	3.5%
三井物産株式会社	2.9%
その他	5.4%

（本第三者割当増資は優先株で実施される。優先株をすべて普通株に転換した場合の株式総数は2,024,945株となり、それを基準に上記株式持分比率を算出。小数点2位以下四捨五入）

4. 本割当増資実施前のイー・モバイルの概要（2006年4月25日時点）

(1) 名称（商号）	：イー・モバイル株式会社（eMobile Ltd.）	
(2) 主な事業内容	：モバイルブロードバンド通信事業	
(3) 設立年月日	：2005年1月5日	
(4) 本社所在地	：東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 新日鉱ビル	
(5) 代表者	：代表取締役会長兼 CEO 千本倅生	
(6) 資本金と資本準備金の合計	：1159.3 億円（うち資本金：581.1 億円）	
(7) 発行済株式総数	：1,704,016 株（優先株等をすべて普通株に転換した場合）	
(8) 主な株主	イー・アクセス株式会社	51.4%
	米ゴールドマン・サックス・グループ	24.9%
	株式会社東京放送	7.8%

以上

< 報道関係の方からのお問い合わせ >

イー・アクセス株式会社

広報室

pr@eaccess.net